

学力分析シート【学年：1年 教科：数学】

実施日：令和元年4月 実施テスト名【平成31年度全国学力・学習状況調査(小6)】 作成者【 藤井 秀行 】

課題が大きいと考えられる問題(正答率が低い、県との差が大きい)

問題番号	趣旨	正答率(%)		分析	取組
		自校	県		
1(3)	示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述できる。	高須小39.7	43.6	複雑な図形の面積を求める際、全体の面積を求めてから余分な面積を引く、という考え方が身につけていない。また、自分の考えを記述する点にも課題があると考えられる。	<ul style="list-style-type: none"> 求める面積＝全体の面積－余分な面積という考え方を理解させる。 自分の考えを記述し、説明する時間を多く取り入れる。

問題番号	趣旨	正答率(%)		分析	取組
		自校	県		
3(4)	示された除法の式の意味を理解している。	高須小44.1	48.1	除法の計算において、割る数の意味を理解できていないと考えられる。	身近な事象から除法の計算をし、割られる数、割る数、答えが示す数量の意味を理解させていく。

問題番号	趣旨	正答率(%)		分析	取組
		自校	県		

例

問題番号	趣旨	正答率(%)		分析	取組
		自校	県		
1四 (1)ア	「対象」学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる。	39.1	48.2	「対象」と書かなければならないところを「対称」や「対照」と間違える児童が多かった。算数科の「対称」と間違える児童が多い。同音異義語に課題がある。漢字の意味を考えながら漢字の習得が図られていないと考えられる。	<ul style="list-style-type: none"> ○新出漢字の学習時には、同音異義語を指導する。 ○宿題の漢字練習においては、字形の練習だけでなく、熟語の練習も行う。(例)対称な図形をかく。 ○新出漢字の練習を学期の始めに実施し、反復練習を行う。